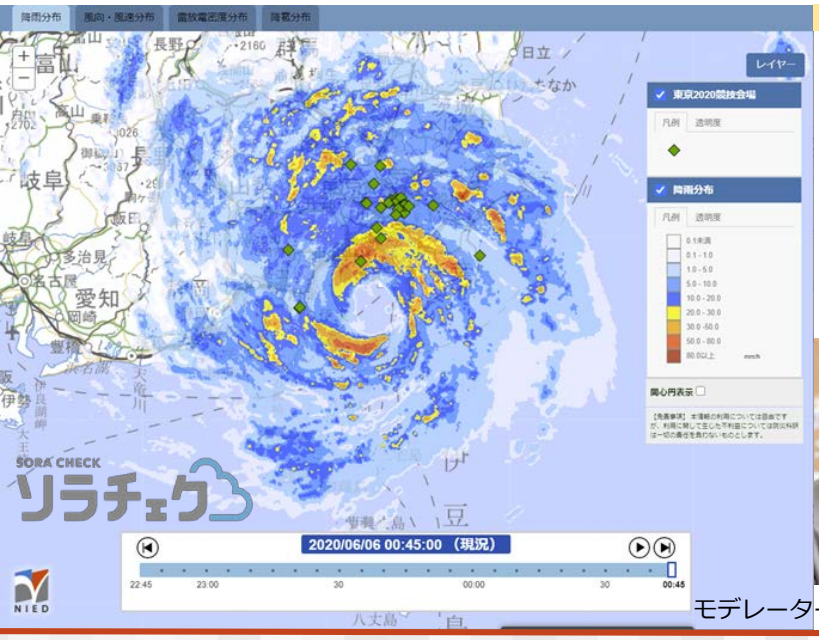
生きる、を支える科学技術
防災科研
NIED

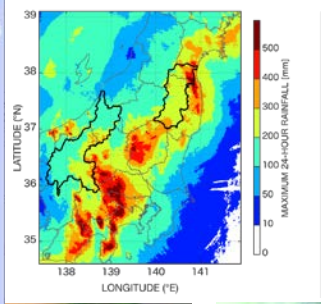
zoom

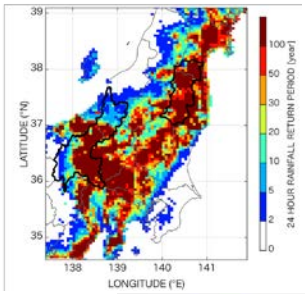
ハイブリッド開催　事前申込制／参加費無料

令和4年度　第2回 災害レジリエンス共創研究会 セミナー



大雨の稀さ情報





モデレーター：下村健一

岩波 越

堀江 啓

「災害レジリエンス共創研究会」は防災科研の新たな試みです

「災害レジリエンス共創研究会」では、企業や自治体、地域の事業継続マネジメント（BCM）の向上や新たな防災ビジネスの創出を目指し、様々なステイクホルダーと防災科研及び大学・研究機関等の研究者が協働して、「マルチハザード」をキーワードに情報プロダクツによる災害レジリエンスの向上に向けた産学官民共創の種を生み育てる仕組みを構築していきます。

企業データ×防災科研気象データ 重ね合わせで何ができるか

地球温暖化に伴い極端な気象による災害の頻発化、激甚化が懸念されています。
防災科研は独自の観測・解析により、首都圏の雨、風、雷、ひょう、雪のリアルタイム情報を地図上にまとめて見える化し、Web-GISサイト「ソラチェク」で公開しています。また、観測された雨量が平均して何年に一度くらいの確率で起こるかを表す大雨の稀さ（再現期間）情報を公開し、災害発生との関係を調べています。
このような気象データを各組織がお持ちの独自データと重ね合わせることで、いかに新たな情報プロダクツを生成し、事業継続マネジメント（BCM）に活用するかについて議論します。

2022. 9. 6 火　13:30-15:30（13:15開場）

会場&Webのハイブリッド型開催

Web(Zoom)参加のみ申し込み受付中

※会場参加は定員となりましたので、締め切りました。

参加希望者は、
●下記URLの申込フォームか、QRコードから参加登録ください。

●現在の申し込みはWeb(Zoom)参加のみ受け付けておりますので、ご了承ください。

申込方法

https://forms.gle/nEtBNi3RgTsQSkLi6

生きる、を支える科学技術
防災科研
NIED

zoom

令和4年度 第2回 災害レジリエンス共創研究会 セミナー（年4回開催）

企業データ×防災科研気象データ　重ね合わせで何ができるか

地球温暖化に伴い極端な気象による災害の頻発化、激甚化が懸念されています。
防災科研は独自の観測・解析により、首都圏の雨、風、雷、ひょう、雪のリアルタイム情報を地図上にまとめて見える化し、Web-GISサイト「ソラチェク」で公開しています。また、観測された雨量が平均して何年に一度くらいの確率で起こるかを表す大雨の稀さ（再現期間）情報を公開し災害発生との関係を調べています。
このような気象データを各組織がお持ちの独自データと重ね合わせることで、いかに新たな情報プロダクツを生成し、事業継続マネジメント（BCM)に活用するかについて議論します。

プログラム

時刻は目安です

Ⅰ. はじめに　**水元 伸一**（防災科研 イノベーション共創本部 副本部長）　■13:30

Ⅱ. 話題提供①　「防災科研独自の気象データについて」　■13:40
岩波 越（防災科研 研究主監 / イノベーション共創本部 本部長代理）

話題提供②　「防災科研データと損害保険データを活用した早期被害推定」
堀江 啓（MS&ADインターリスク総研株式会社 デジタルイノベーション本部 リスク計量評価部長）

（休憩）　■14:30

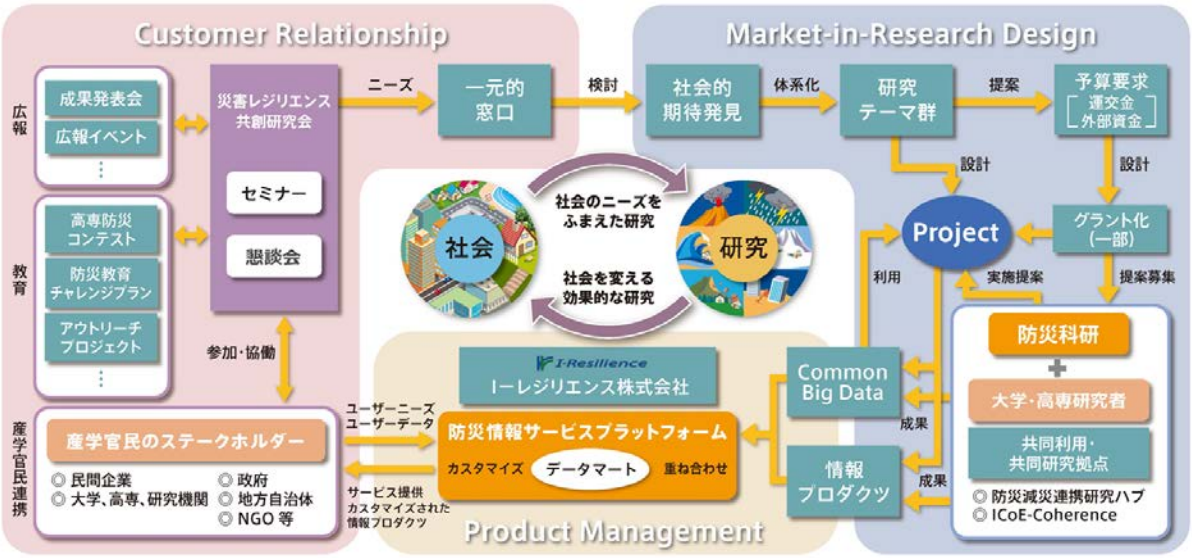
Ⅲ. パネルディスカッション　■14:35
モデレーター：**下村 健一**（令和メディア研究所 主宰 / 白鴎大学 特任教授 / 元TBSキャスター）
パネリスト：**話題提供者**

Ⅳ. 参加者とのディスカッション
モデレーター：**下村 健一**
出演予定者：**話題提供者**　および（質問者を中心とした）**参加者**

Ⅴ. おわりに　**林 春男**（防災科研 理事長）　■15:25

※なお、新型コロナウイルスの感染状況他を考慮し、会場開催を取りやめ完全オンラインとなる場合があることをご了承ください。

防災科研が目指す共創の仕組み



お問い合わせ
防災科研　イノベーション共創本部　共創推進室　災害レジリエンス共創研究会　事務局
郡司・千葉・宮崎・塚本　E-mail：info-kyosokenkyu@bosai.go.jp

Ver.11_20220808